

ちゅうりっぷだより



令和4年10月20日
川口市立舟戸幼稚園
年少ちゅうりっぷ組

秋風が心地よく吹き、過ごしやすい季節になってきました。子供たちは毎日遊びを自分から見つけて、元気に遊んでいます。子供たちが持ってきてくれるドングリや落ち葉、澄んだ空気や晴れ渡った空からも、日に日に秋を感じるようになってきました。

子供たちは、運動会を経験して心も体も成長しています。今後もさらに友達との関わりを広げ、充実した園生活を送れるよう、一人一人の成長を大切にしていきたいと思います。



運動会ごっこ

ミッキーマウスの曲がかかると、「パレードが始まるよ」と集まり、「〇〇ちゃん、ここだよ」と友達を呼び、元気に行進して毎日の運動会ごっこがスタートしました。かけっこが大好きで「今日よいドンする?」「またやりたい」と、初めは走ることを楽しみました。次第に「速かった?」「一番だった?」と競争することを意識するようになりました。リズムでは、「♪トントントマトちゃん♪」と歌いながら踊り、最後のポーズでは、「見て私のポーズかわいいでしょ」「僕のポーズかっこいいでしょ」と自分なりに表現することを楽しんでいました。年長さんや年中さんのリレーが始まると、「あつ、応援に行かなくちゃ」とポンポンを振りながら、元気に「がんばれー」と声援を送っていました。

初めての運動会を経験した子供たちは、様々なリズムに興味をもったようです。年長さんリズム『ツバメ』や年中さんのリズム『ポポポポポーズ』では、年長さんや年中さんに動きを教えてもらったり、真似をしたりしながら踊り、お兄さんお姉さんになったような気持ちになっていました。運動会とその後の遊びを通して味わった体を動かす楽しさを、これからの鬼遊びや土手遊び、ごっこ遊びへとつなげていきたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『健康な心と体』『自立心』『道徳性・規範意識の芽生え』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

入れて!

「大きなお山をつくろう」「なかよしの家でパーティしよう」など遊びの中で自分の思いやイメージを自分なりに伝えながら友達と遊ぶことを楽しむようになってきました。一緒に遊びたいという友達との関わりを十分に楽しめるように、教師も仲間入りしたり見守ったりしながら援助しています。中には、小さな行き違いやうまく伝えられないもどかしさから悲しい気持ちになってしまうこともありますが、一人一人の思いを聞いて、みんなが気持ちよく遊んだり生活したりしていけるように援助しています。相手の気持ちを理解したり、寄り添ったりしようとする気持ちが育つよう、今後も丁寧に関わっていききたいと思います。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の『自立心』『道徳性・規範意識の芽生え』『社会生活との関わり』『言葉による伝え合い』『豊かな感性と表現』につながる姿が見られます。

11月は次のようなねらいをもって進めていきます

- 自分の思いを話しながら、友達と関わって遊ぶことを楽しむ。
- いろいろな方法で、自分なりに表現する楽しさを味わう。
- 秋の自然物に親しみ、遊びに取り入れることを楽しむ。

